

2026年8月度 高島屋店頭売上速報

■ 国内百貨店売上高 (前年比 単位: %)

大 阪 店	△0.2	柏 店	※2 +2.3
京 都 店	※1 +6.2	E C 店	+13.5
泉 北 店	+6.9	(株) 高 島 屋 各 店 計	+3.3
日 本 橋 店	+11.7	(株) 高 島 屋 各 店 既 存 店 計	※3 +5.3
横 浜 店	+2.7	岡 山 高 島 屋	+0.5
新 宿 店	+10.3	高 崎 高 島 屋	△1.2
玉 川 店	+1.2	国 内 百 貨 店 計	+3.2
大 宮 店	△0.2	国 内 百 貨 店 既 存 店 計	※3 +5.1

2022年3月から「収益認識に関する会計基準」を適用しておりますが、店頭売上速報で開示する国内百貨店売上高につきましては、従来の基準(総額売上高)で開示しております。

※1 京都店は「洛西店」の売上高を含みます。なお、「洛西店」は本年8月3日をもって営業を終了しています。

「洛西店」の本年および前年実績を控除した京都店単独の前年比は+10.1%となります。

※2 「タカシマヤ フードメゾン おおたかの森店」の売上高を含みます。

※3 本年1月7日に営業を終了した「堺店」の前年実績、8月3日に営業を終了した「洛西店」の本年および前年実績を控除しています。

■ 概況

○前年比(※既存店対比)におきましては、店頭売上高+3.2%(※+5.1%)、免税売上高+6.6%、免税を除いた店頭売上高+2.7% (※+4.9%)となりました。

○国内顧客については、ラグジュアリーブランドをはじめとする高額品のほか、食料品等も堅調に推移し、前年実績を上回りました。

インバウンド顧客についても、高額品に加え、子供情報ホビーやスポーツ関連商品等が伸長したことで前年実績を上回り、

店頭売上高全体を押し上げました。 ※インバウンド: 前年比【件数(客数)】△6.8%【単価】+14.4%

○店舗別売上高は、京都店、泉北店、日本橋店、横浜店、新宿店、玉川店、柏店、EC店、岡山店が前年実績を上回りました。

○商品別売上高(当社分類・既存店対比)は、紳士服、婦人雑貨、特選衣料雑貨、宝飾品、呉服、子供情報ホビー、スポーツ、リビング、食料品、サービスが前年実績を上回りました。